

介護「思いやり持って」

大垣市 安藤和津さんが講演

エッセイストでコメンテーターの安藤和津さんの講演会が、大垣市万石の大垣フォーラムホテルで開かれ、8年間にわたる母親の介護の苦労や、介護を通じて学んだことを語った。

大垣西濃信用金庫が「だしん特別講演会」として企画。約380人が聴講した。安藤さんは「介護は壮絶だった」と振り返り、偉大な存在だった母親が「ある日突然、パジャマ姿のまま、化粧もせずに一日中同じ姿勢で座っているようになった」と紹介。母親の介

護を終えてから介護うつを発症したことも挙げ、人前に出られず、文章も思い付かなくなり「自分を責める毎日だった」と明かした。母親のおむつを替えてい

る際には「自分は幼い時に母親におむつを替えてもらい、たくさん愛情をもらった」と気付かされたといふ「その人にしてもらったことをお返しする、自然の流れだと思った」と語った。「愛情を与え、思いやりを持ってこれから生きてほしい」と呼び掛けた。

(杉原康仁)



母親の介護の苦労や、介護を通じて学んだことを語る安藤和津さん＝大垣市万石、大垣フォーラムホテル